

会合

令和3年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、2021年7月26日～27日の2日間オンライン形式で本年度の初回会合を開催し、AJEEP（ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership）の事業計画・取組み内容を説明し、各国と今年度事業実施内容の討議を行い、下記を確認しました。

- (1) スキーム2（多国間専門家派遣）はエネルギー管理士指導者育成プログラムの6年目の事業を継続実施する。
- (2) スキーム3（法制度整備遅延国支援）はカンボジア・ラオスを対象に省エネ法関連諸制度の整備について継続支援する。
- (3) スキーム2・3とも、今年度で事業完了を予定しており、これらの成果を発展させる新スキームの検討を開始する。

オープニングスピーチ：EE&C-SSN（タイ）・省エネルギーセンター・ACE



発表者の集合写真

日本会場からの討議風景

会議には ASEAN 各国から ASEAN 省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表と対話国との事業調整を行う ACE（ASEAN Centre for Energy）が参加し、本年度の実施計画を決定しました。

- (1) スキーム2では、COVID-19下で実践的研修が困難なことから、ビデオを用いた実技研修の代替や工場診断の事例を活用した省エネ診断事例研究の導入を合意しました。
- (2) スキーム3では2回のワークショップを行い、定期報告書フォーマットの最終化や省エネラベル運用システムの整備等、数年に渡り ASEAN 内支援国とともに支援してきた活動の成果を明確にすることとしました。
- (3) 新スキームに関しては、ACE・EE&C-SSNと緊密に協力して、エネルギー管理士の資質向上を含む持続的エネルギー管理認証システムやカーボンニュートラルに向けたビル・産業・運輸部門の先進的エネルギー管理に対応する人材育成を検討することとしました。